

43190

教科書文庫

4
720
42-1917
0130 449315

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

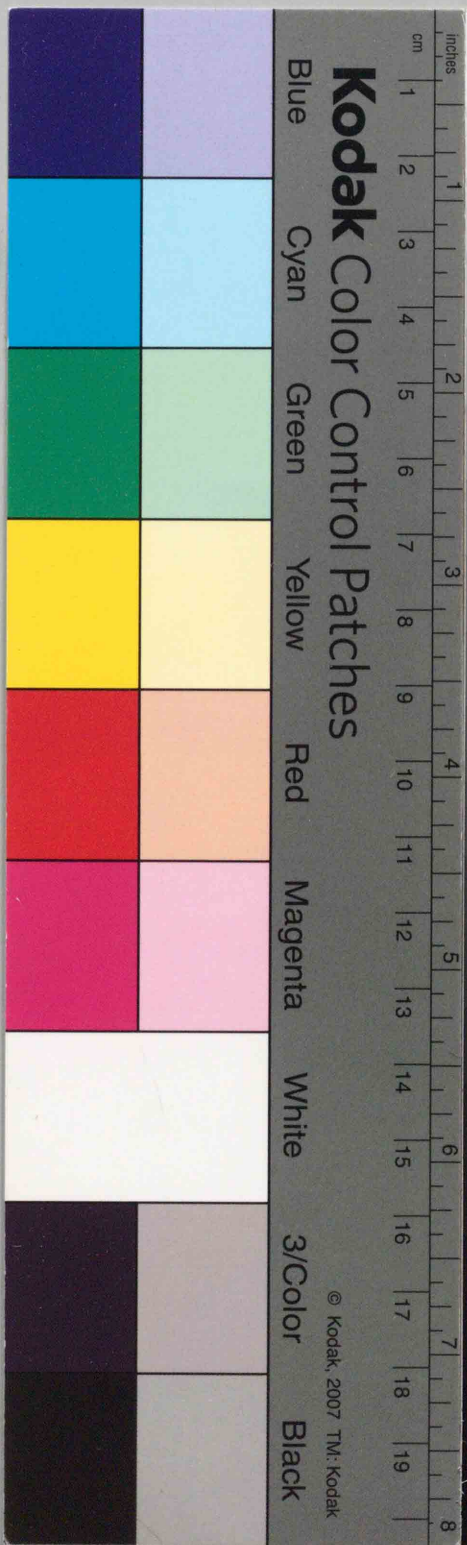


© Kodak, 2007 TM: Kodak

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



國	書
一	冊
號	冊

增訂
新撰
筆法
志
二



中央図書館

日一十三月一年六正大

濟定檢省部文

冊數	二
國語	
縣第一	号

小野鶴堂編書

訂增新撰

發行所

博文館
吉川弘文館

第二帖

仁義禮智忠信孝悌(行書八字)

花さかばとの御約束今年は必ずと祈り申候

温良、貞操、慈善、博愛(行書八字)

五月雨のそらとは申ながら鬱陶しく候

家政、經濟、勤儉、貯蓄、整理、養育、保護、親切、友誼(中字十八字)

此籠の中なるは昨日野遊にて摘みとり候若菜に付、御笑草までと少々ながら御目にかげ候かしこ

(手紙書式)

貴賤、貧富、名譽、幸福(行書八字)

厳しき御暑さに候處如何御暮し遊ばし候哉

收支、出納、勘定、賣買、計算、銀行、會社、組合、株式(中字十八字)

言葉花さくものは心必ず實なし口に蜜を造る者は心必ず針あり(新井白蛾)

(昭憲皇太后御歌)寄國祝 君と臣の道明らけきひのもとには動かじ萬代までも

縁縁延延傳傳科料(類字八字)

(一)(二)(三)(四)(五)(六)(七)(八)(九)(十)(十一)(十二)

広島大学図書

0130449315



忠信孝悌
仁義禮智

(三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十) (十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十)

秋げしきもよほし朝夕は凌ぎよく相成候

岳兵侍待杖枝末末吏免免血血胃胃功切率卒因困戒戎宗宋且且(類字二十八字)

辭は緩くして誠ならむことを願ひ行は敏くして厚からん事を欲す(中根東里)

齋齋萩萩微微戴戴(類字行書八字)

此程は御新宅に御引移りのよしめで度存じ候よりて粗酒一樽御祝ひの印迄に進上いたし候

己巳巳、頃頃頂、伐代、官宮、恩思、鳴鳴、恭忝、瓜瓜、季季、弋戈、諸暗、營榮、意竟(類字二十八字)

君子の意思は内に向ふ己獨知る所を慎むて人に知られん事を求めず天地神明とまじはる其人光風霽

月のごとし(熊澤蕃山)

裁縫、運針、洗濯、絹、麻、木綿(行書十字)

御姉上様には今晩御分婉のよしめで度存候

兩人とも至て壯健に付御安心下され度候

人の善き事したらんを褒むる事あらば必戒めの言を添ふべし惡き事したらんを諫むることあらば

必なだむる言を加ふべし戒むれば誇らずなだむれば善に進む(申井整庵)

變體いろは

春來ればはなみむとおもふ心こそそのべのかすみと共にたちけれ(新年試筆(後撰和歌集))

茶々々々々々

以弱未之未

必也と初也

溫良貞貞操

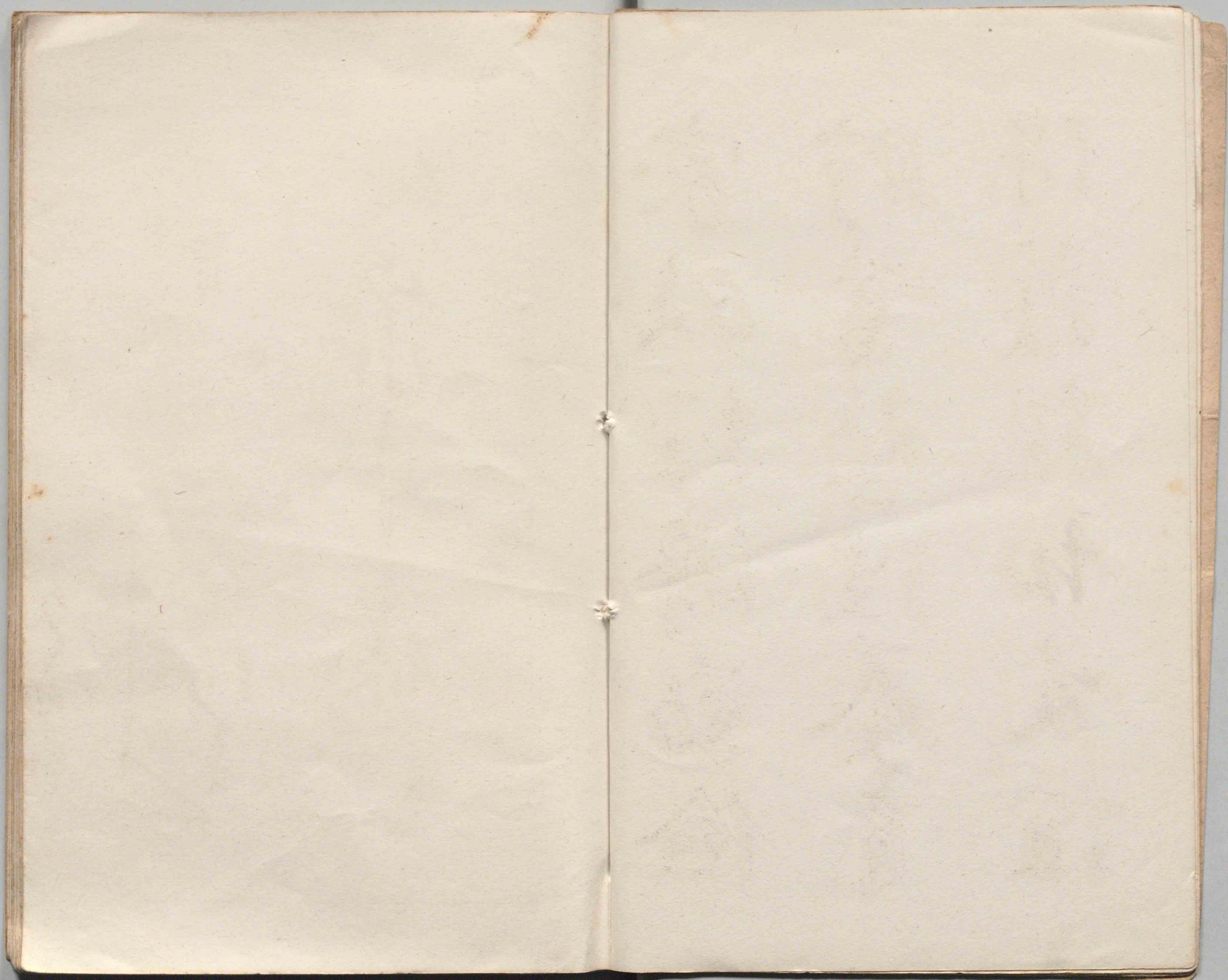
慈善博愛

子月雨のそら

とらちがら

替付
つら
つら

家政經濟勤儉
貯蓄整頓養育
保護親切友誼



此花の中たるは時日

聖遊を極えとわひ若

葉に付て愛するものぞ

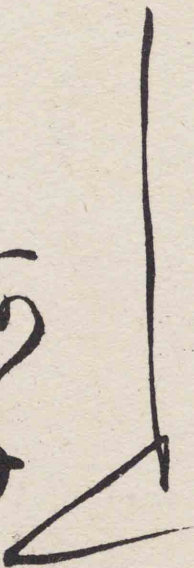
少くはらう自に

うきゆい

月

日

何ぞ



山崎まゆ子様

貴賤分貧富

名譽享幸福

散し は ら り す べ し

よし の 事 又 如 何 の 事

し は ら り す べ し

収支出納勘定

賣買計算銀行

會社組合株式

言葉花寸くゆ子
心必春實形し
口小密を造る者
心必ず針あわ

奇玉祝

夫と位の乃 明らるる
このも けらるる 勤ら
し 義代 まで へも

缘
绿
延
延

傳
傳
科
料

秋
を
し
朝
夕
凌
ぎ
よ
く
お
家
小

岳兵侍待杖枝未末
吏史免兔血血胄胃
功切率率因困戒戎
宗宗旦旦

辞と緩と一丁誠
たからむとを願ひ
行も敏と一と厚
うらし半を欲す

齋齋
秋秋

徵徵
戴戴
載載

此程より新巻より引

福りのぞめを交す

よる粗酒一杯祝ひ

此のよき道より

己巳巳 頃頂頂 伐伐
官官恩 思思鳴 嗚恭恭
瓜瓜季 季季弋 弋諳暗
營營崇 崇崇意 意竟

君子其意思と内小向ふ
已獨知る所を慎む人
之知らずを求めず
天地神明とまじけり其
人光風霽月なり

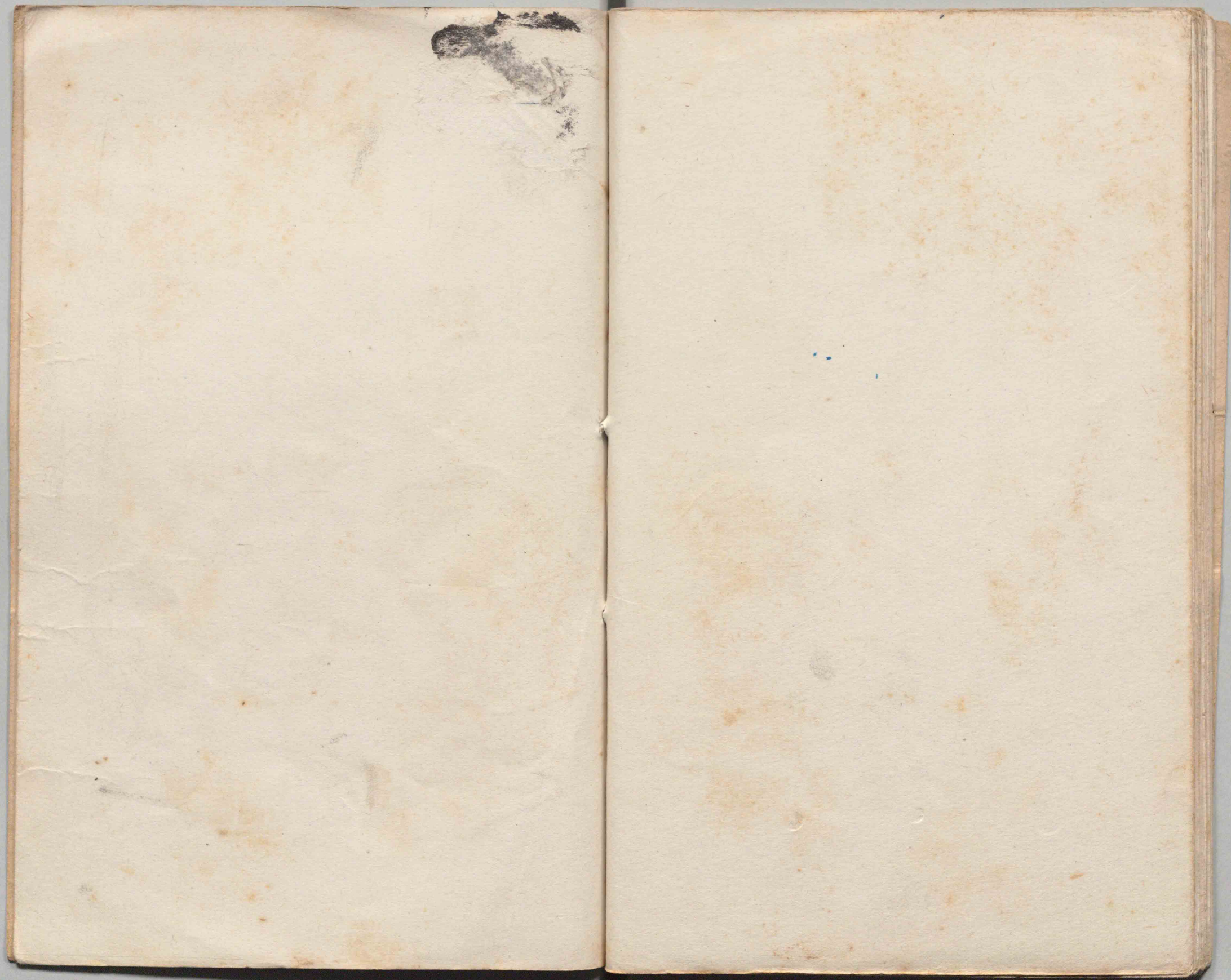
裁縫運針
洗濯縮麻
木綿

御下市と様とら
今時分宛の
めぐる友存

有
 人
 至
 于
 健
 之
 付
 以
 女
 心
 下
 女
 度
 有

人け善き事志らんを褒むる事
あらど必戒めの言を添ふべし悪
き事たるんを諫むる事あらば
必だだむる言を加ふ處し戒むれ
を誇らずたぶむ事と善に進む

心跡を去りて不問海北の事なり
然るに其の事多し是れ其の流
川に流るる所なり其の流乃ち
松久の流に合す其の流乃ち
之の流に合す其の流乃ち
其の流に合す其の流乃ち
其の流に合す其の流乃ち



喜來川

ふしと

あふ
こ

みづのかき

あふ
こ

試

河野

日一十三月一年六正大
濟定檢省部文

發行所

東京市日本橋區本石町三丁目
東京市京橋區新榮町五丁目
名古屋市西區本町三丁目
株式會社 博文館
株式會社 吉川弘文館
株式會社 川瀨書店

訂 増
りをしの筆撰新



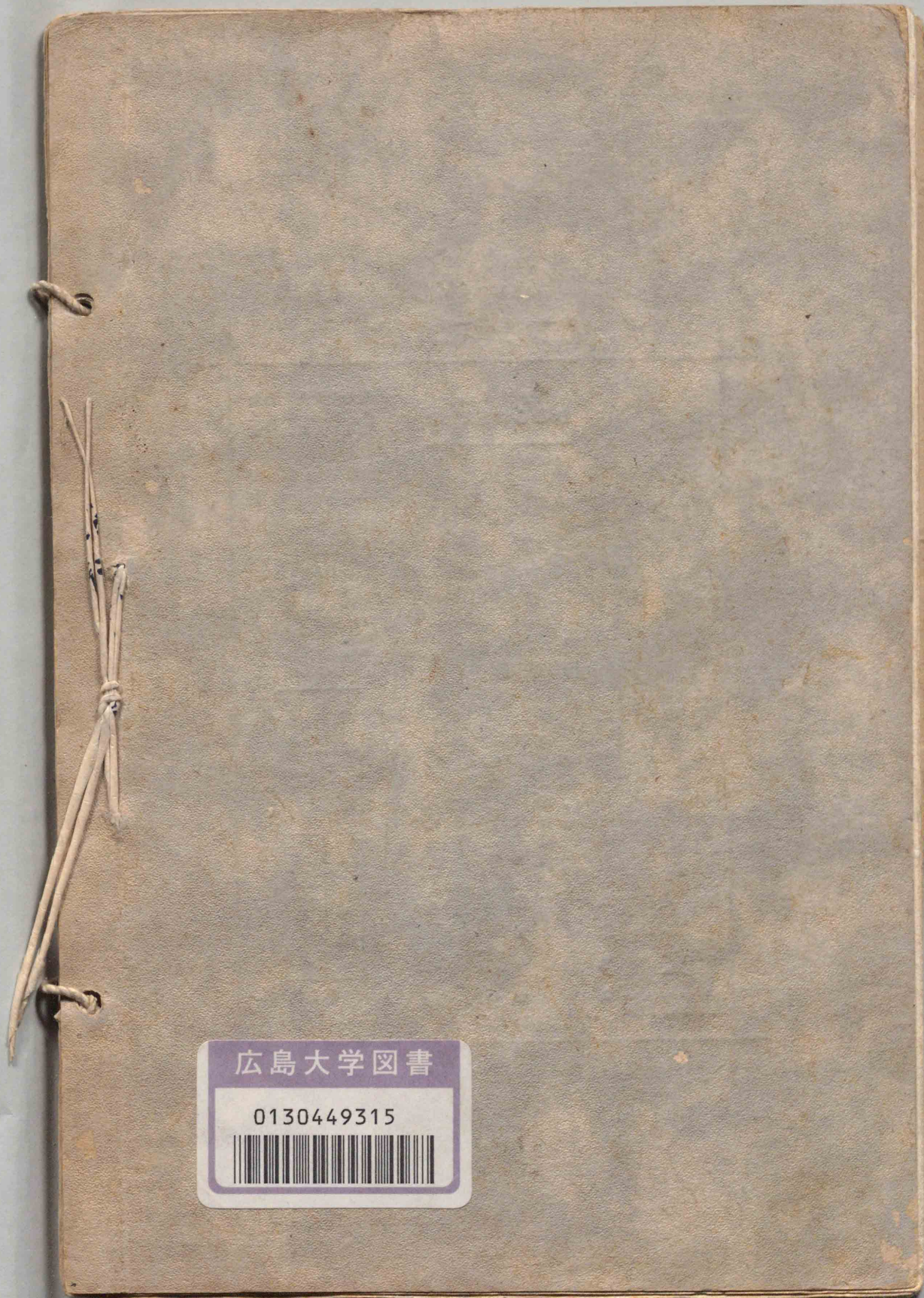
編輯者 小野 鋼之助
發行兼印刷者 吉川 弘文館
發行所 川瀨 書店
東京市京橋區新榮町五丁目三番地
名古屋市西區本町三丁目五番地
代表者 吉川 半七
代表者 川瀨 ちよ

大大大大大大
正正正正正正
九八七六六五

年年年年年年
三三三四一一十

月月月月月月
十五五三廿廿廿八
日日日日日日
訂訂訂訂訂訂
正正正正正正
六五四三再再
版版版版版版
發發發發發發
行行行行行行

定 價	一、三、各金貳拾貳錢
大正九年度	一、三、各金貳拾貳錢
臨時定價	三、四、各金參拾七錢



広島大学図書

0130449315

